

# 令和6年度 学校図書館活用実践報告

葛塚小学校

## 1 児童の実態と今年度の方針

### (1) 読書センターとして

全学校で図書の時間が週1時間確保されているため、児童は一定の冊数は本を借りて読んでいる。しかし、休み時間にも自発的に本を借りに来る児童は限られている。(R5 1人平均貸出数 102.6冊)

イベントや図書の時間での啓発、図書環境の整備により、本を借りて読みたいという動機付けを継続する。

### (2) 学習センターとして

どの学年も年間に複数回、図書資料を活用している。司書が学習時期になると学年の廊下に必要な図書館資料を準備することにより、教科書から本へと活用を広げやすくなっている。また、学習の成果物を廊下の掲示板や図書館に掲示することで、児童は達成感を味わったり、学年の学びを自覚したりすることができる。

学年の年間活用計画に図書館活用を位置付けて見える化をはかっている。これによって、司書が事前に必要資料を準備できる。さらに各学年の国語授業での実践を廊下掲示することで、他学年がどんなことを学んでいるのかが分かる。

### (3) 情報センターとして

4月に司書が行うオリエンテーションにより、図書館マナー、本の選択の仕方を学ぶことができる。一方で、自ら図書資料から情報を選び要約して活用する力などは十分とは言えない。

情報活用に関わる学年の実態を一覧表にした。これを基に10月の「情報活用について」の司書オリエンテーションを見直した。また、新聞の設置場所や方法を変えて、児童がより手に取りやすいようにした。各教科、総合で意識して実践を進めることで、少しずつ児童の情報活用能力を高めていく。

### (4) 中学校区での連携

図書館だよりの交換は以前から行っていた。今年度、学習成果物の交換・展示も行う。

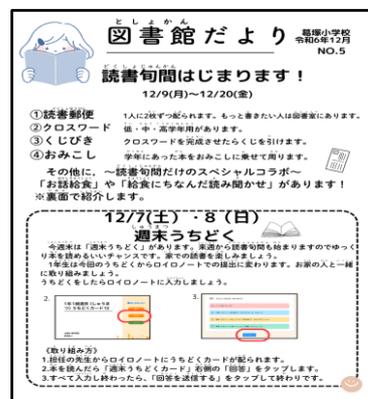
## 2 これまでの取組

### (1) 読書センターとして

#### ① 司書の取組

司書が行っている取組を以下に示す

- ・季節や学習時期に合わせた掲示
- ・学級文庫の見直し
- ・水曜日の全校朝読書
- ・週1回の読み聞かせ
- ・図書だよりの
- ・各学年おすすめの本→表彰



- ・うちどくの推進
- ・読書旬間における給食コラボの打ち合わせ
- ・おはなしたまてばこ（読み聞かせボランティアとの打合せ、サポート）
- ・読書バリアフリーの推進

「りんごの棚」コーナー  
リーディングルーペ  
リーディングトラックの設置



**おはなし給食**  
テーマ『大切な作品を残してくれた作家・画家さんたち』～日本の児童文学者～

給食の日	学年	人物	本の題名	給食の献立
12/9 (月)	6	松岡享子	くまのパティントン	フィッシュ&チップス
12/10 (火)	5	那須正幹	うわさのズッコケ株式会社	いわしの味噌煮
12/13 (金)	3	和歌山静子	王さまレストラン	スパゲッティ・ミートソース
12/16 (月)	4	矢玉四郎	はれときどきぶた	ちくわの磯部揚げ (えんぴつてんぷら)
12/18 (水)	2	さとうわきこ	ばばあちゃんのやきもちい	やきもち
12/20 (金)	1	中川李枝子 山脇百合子	ぐりとぐらとすみれちゃん	かぼちゃコロック

おはなしたまてばこさん読み聞かせ  
テーマに関連した本の読み聞かせやブックトーク

12/16 (月)～12/20 (金)  
借りられる本: 1人 4 冊  
忘れずに借りましょう (12/23 (月)・24 (火) は予備日)

この図書館よりはロイロノートの 資料誌一冊内共一冊書庫用一冊書庫がよりから読めます。  
ご返却と一緒に読みましょう。

学校教育活動の中に、本に親しむ機会を多く取り入れてくれている。学級担任の負担が減るように「うちどく」をロイロで行うなどの改善も行っている。

## ② 図書委員会の取組

### ○ 夏の読書週間の取組

スタンプラリー、クロスワード、ガチャ、景品（シリーズ3冊借りられる券、プラス1冊券、しおり、シール、折り紙）



### ○ 冬の読書旬間の取組

・お話し給食・・・お話のテーマに関する給食が登場。

テーマ:『大切な作品を残してくれた作家・画家さんたち』～近年亡くなった日本児童文学者～

給食の日にち	学年	人物	職業	作品	献立
12/ 9 (月)	6	まつおかきょうこ 松岡享子	作家 翻訳家	くまのパティントン	フィッシュ&チップス
12/10 (火)	5	なすまさもと 那須正幹	作家	うわさのズッコケ株式会社	いわしの味噌煮
12/13 (金)	3	わかやましずこ 和歌山静子	画家	王さまレストラン	スパゲッティ・ミートソース
12/16 (月)	4	やだましろ 矢玉四郎	作家	はれときどきぶた	ちくわの磯部揚げ (えんぴつてんぷら)
12/18 (水)	2	さとうわきこ	作家	ばばあちゃんのやきもちい	やきもち
12/20 (金)	1	なかがわり えこ 中川李枝子 やまわき ゆりこ 山脇百合子	作家 画家	ぐりとぐらとすみれちゃん	かぼちゃコロック

・読書郵便、クロスワード、くじびき、おみこしに本を載せて本の紹介をして回る。

委員会の児童と担当職員、司書、栄養教諭で、毎年相談しながら進めている。読書旬間の時期はいつもよりも本に親しむ児童が増え、本の楽しさや面白さを児童同士で交流していた。



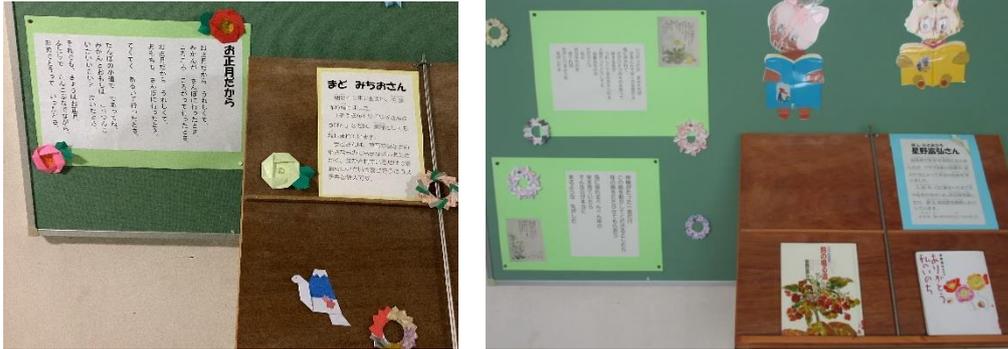
### ③ 地域との連携

- ・おはなしたまてばこ



読み聞かせや語りなど各学年で水曜・木曜に実施。毎年読書旬間では、おはなし給食のテーマに関連した読み聞かせ&ブックトークを行い、コラボしている

### ④ その他 学習環境



全校が通る廊下の掲示板には、毎月、詩人の紹介と幾編かの詩を掲示している。同じものを図書館にも掲示し、その詩人の本を手にとれるように特集している。

## (2) 学習センターとして

### ① 各教科で活用する資料の提供

教科書改訂に伴い「年間活用計画」の見直しを学年で行う際には、「新潟市情報活用能力体系表」も確認してもらい、位置づけを行った。今後、よりよい活用方法を探っていく。年間活用計画自体については、司書と学年が相談して、授業で使う資料を用意することに有益であった。今年度の実績をもとに、6学年分の必要となる資料とその時期が分かる一覧を作成する予定である。

### ② 豊栄図書館の出張授業

10月のオリエンテーション期間に、豊栄図書館の出張授業を実施。4年生のすべてのクラスで百科事典（ポプラディア）の使い方を教えてもらった。学校司書も T.T で参加した。学区の図書館であること、資料やワークシートが工夫されていたことなどもあり、子どもたちは意欲的に取り組んでいた。



### ③ 図書館活用実践

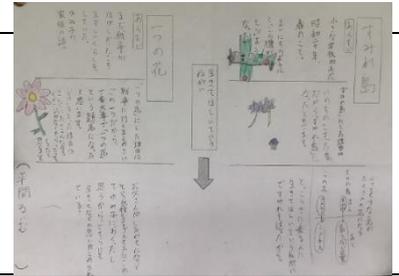
#### 【1年生】

教科「単元名」	国語 「のりものカード」をつくろう
活用のねらい	自分が調べたい乗り物を決め、図鑑を見たり本を読んだりすることを通して、調べている乗り物の「のりものカード」を作ることができる。



## 【4年生】

教科「単元名」	国語「一つの花」
活用のねらい	「マイリーフレット」にまとめるために、「一つの花」で学んだ見方・考え方を使得、自分が選んだ本の「題名が表していること」「二つの作品の共通点」を考えることができる。
指導のポイント	<p>○司書と相談して、平和を願う本5冊を用意。 学年の廊下に展示するとともに読み聞かせをする。</p> <p>○5冊の本をロイロで写真を撮り、児童に送る。 リーフレットを作るときにいつでも本文に戻って考えられるようにした。</p>



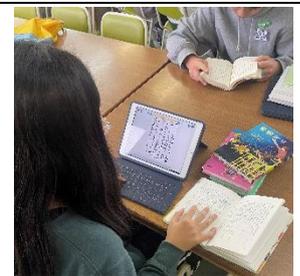
## 【5年生】

教科「単元名」	物語のおもしろさを解説しよう 注文の多い料理店
活用のねらい	物語のおもしろさを知るために、宮沢賢治の本を読み表現のおもしろさや想像力の豊かさを感じることができる。
指導のポイント	<p>○司書から宮沢賢治の本をたくさん用意してもらい、並行読書を実施したり、読み聞かせをしてもらったりした。</p> <p>○国語と図工を関連させ、自分のお気に入りの本の場面を想像して、物語の絵を描かせた。感じたことを言葉だけでなく、絵で表現することで物語のおもしろさを深めることができた。</p>



## 【6年生】

教科「単元名」	総合「私の未来設計図」
活用のねらい	自分の夢を考えたり興味のある仕事について調べたりすることを通して、将来なりたい職業についての見通しをもつ。
指導のポイント	<p>○司書にお願いし、仕事に関する本を学年共有の場所に展示した。</p> <p>○職業検索サイトと用意してもらった本を参考にしながら、仕事の内容や仕事への就き方について調べた。</p> <p>○調べたことを基にして、「未来新聞」にまとめた。</p>



## 【特別支援】

教科「単元名」	生活単元「生き物となかよし」
活用のねらい	自分がお世話をしたい生き物について、図鑑の写真を見たり解説を読んだりすることを通して、親しみながら飼育をすることができる。
指導のポイント	<p>○生き物に関する本を共有の場所に展示し、いつでも手にできる環境を設定した。</p> <p>○餌のあげ方、水の替え方など教師と一緒に本を見ながら確認した。</p> <p>○生き物に親しみをもてるように、図鑑を見て絵を描く時間を設けた。</p>



## (3) 情報センターとして (情報収集、整理・加工、検索、提供など)

### ① 新聞設置の方法

これまで新聞を設置していた図書館内から、図書館入り口に設置場所を変えた。また、展示棚に最新版を置くようにした。これによって、通りすがりに目を通す児童や開館を待つ間に新聞を読む児童の姿が見られるようになった。



### ② 司書によるオリエンテーション (各学年2回ずつ)

以前から司書によるオリエンテーションを年2回実施していた。今年度は、学年や情報部と連携することで、どの学年でどのように情報活用が行われ、モラルの指導が実施されているか、分かるようになった。(別紙) 実態に合わせ2回目のオリエンテーションを行った。

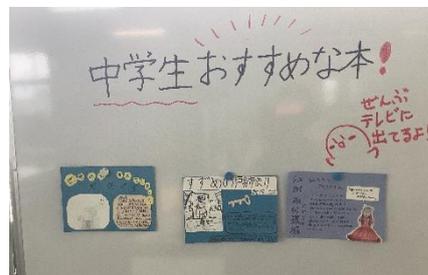
今後、系統的に自分で本を選択できるようになったり、正しく活用できるようになったりすることを目指して授業のサポートをしていく。



## (4) 中学校区での取組

図書館だよりの交換は以前から行っていた。今年度、学習成果物の交換・展示も行った。光晴中学校の図書委員会によるPOPを小学校の図書室で掲示したり、小学校4年生が授業で作成したポップを中学校で展示してもらったりした。

興味をもって見ている様子があり、それぞれ興味のある本の情報が交換できた。



## 3 取組を振り返って

これまで行ってきた取組を整理したことで、何のための活動であるかを意識して実践できた1年となった。

各学年の年間活用計画に情報活用の力を記号で入れたことで、来年度から情報活用能力についても意識して単元づくりができると思う。情報部や各学年に協力してもらい、学年の発達段階に合わせた指導の方法や共通しているねらいが明確になった。児童が必要な本を自らの力で適切に選ぶ力が身に付くように、今後も職員が連携して指導して

いけるようにしていきたい。

また、今年度の図書館活用の取組を通して、司書と職員とが互いに指導内容や必要な資料を共有しておくこと、すぐ相談できる関係性がいかに大切であるか改めて実感できた。

中学校との連携は、児童にとって中学校の様子を知り憧れや安心を感じることができるよい取組だった。今後も、継続していけるような仕組みを考えていきたい。